

7月13日には3年総合的な探究の時間の発表会を教育研修所桜ホールをお借りて実施しました。協力いただいた企業の担当者、兵庫教育大学勝見先生に助言をいただき、3年間の探究学習を締めくくりました。加東市の課題克服に始まり、企業のミッションクリアに向けた研究、そして地元企業への貢献と3年間の成果を見せてくれたと思います。本校の探究学習のスタイルができましたので、下級生はさらに進化していけるように調べるだけでなく、発想豊かな研究になるように今後に期待します。3年生の皆さんお疲れ様でした。また協力いただいた企業の皆様、兵庫教育大学の勝見先生ありがとうございました。



7月14日には舞子高校にお邪魔して、私がいつもお世話になっているスポーツ内科医でオリンピック研究をされている賀来正俊先生の「オリンピックの意義」についての講演を聞かせていただきました。「まず近代オリンピックを提唱したフランスの教育者クーベルタンを紹介。古代オリンピックが紀元前776年から紀元後393年にわたる1169年間293回も開催され、開催期間中は『エケケイリア』という聖なるオリンピック完全休戦協定を締結したことにより、戦争は行われなかったことからオリンピックの開催が世界平和につながると考えられたということ。近代オリンピックにおいても『エケケイリア』は国連決議で採択され現在に至ること。ロシアが3度にわたりその休戦協定に反する行為をし、今なおウクライナへの侵攻は続いていることで、オリンピック精神を世界中の多くの人が今一度見直す必要があること。オリンピックの開催意義を知り、自分たちのできる事で貢献しようとする姿勢を持ち続けることが大切だということ。」を話され、「金メダルをとることやオリンピックの経済効果だけが話題となっているが、こういった意義を学び、今後どのように伝え、その精神を守っていくかをしっかりと考えていくことで、少しでも平和な世の中に近づけてほしい」という願いをもって締めくくられました。一人一人のできる事は限られているかもしれませんが、できる事に取り組もうとする姿勢を持つことで変えていける部分もあると思います。とても貴重な話を聞かせていただきました。ありがとうございました。またその講演会のことが神戸新聞17日朝刊神戸版に掲載されていました。



7月13日に全国大会予選が始まった高校野球は、2回戦を迎え、投手の評判が高かった飾磨工業高校と対戦し、2本の本塁打を打たれながらも5-3で勝利を収め、17日に3回戦で篠山産業高校と対戦しました。応援団もメガホンに太鼓を持ち込み、音楽も鳴らしながら一体感のある応援のもと暑い日差しの中試合開始。初回2回と6人連続でフライを打ち上げ、3者凡退に倒れる嫌な展開も2年生年綱投手が要所を抑えて得点を許さず、3回にチャンスが生まれ3点を先制。その後もバントを決める等攻撃の手を緩めず、公式戦初出場の2年生高橋投手が力投。さらに3年谷口選手がヒットを打ち6回に一拳5点を加点。3年吉田投手、芝本投手とリレーし、7回コールドで勝利を収めました。浮かれることなく次の対戦に気持ちを切り替え、一戦一戦力をつけて、優勝を目指してください。



3連休が終われば1学期も終了です。多くの学校行事は中止せずに行いましたが、新規感染が増えている昨今、緊張感を持って感染対策、加えて熱中症対策をしてください。19日表彰伝達、壮行会、20日終業式です。よろしくお願ひします。